

手作り遊びで 親子クと交流

真庭で県立大生ら

保育士などを目指す
県立大(総社市窪木)
と就実大(岡山市)の
学生11人が17日、真庭
市上の福祉のむらづく
り拠点施設「まめな家
屋」で、就学前の子ど
もと母親でつくる富原
親子クラブ「あゆみ会
のメンバーら21人と手
作りのおもちや歌、
絵本の読み聞かせて交
流した。

文部科学省の「地
(知)の拠点大学によ
る地方創生推進事業
(COC+)」として
県内の産学官連携組織
「おかやまCOC+推
進協議会」(代表・県立
大)の取り組み。県立
大保健福祉学部と就実
大教育学部の学生が自
分たちで企画立案した
学習成果を披露した。
学生たちは新聞紙を



新聞紙を細かく切ったプールで子どもたちと遊ぶ
大学生たち

細かく切った作ったプ
ールで子どもたちと遊
んだら、段ボールでか
たどったクリスマスツ

りに折り紙で飾り付
けたりして交流。手遊
びや読み聞かせも子ど
もたちを楽しませた。

県立大3年渡邊光季
さん(21)は「年齢に応
じた遊びを用意したの
で、みんな喜んでくれ
ていたと思う。母と子
の自然な触れ合いも知
ることができて勉強に
なった」と満足そう。
あゆみ会の稲岡加奈会
長(28)は「手作りのお
もちは色使いなどを
うまく工夫していた。
子どもに溶け込むのも
上手だった」と話した。
(小原一穂)